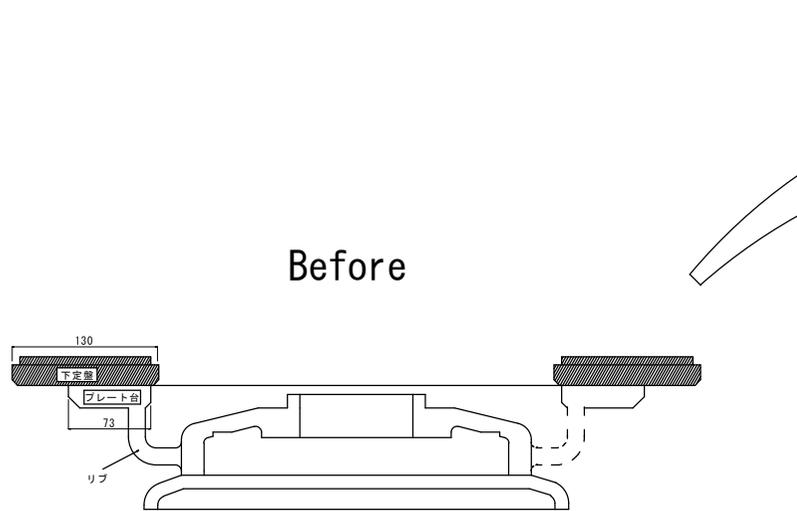
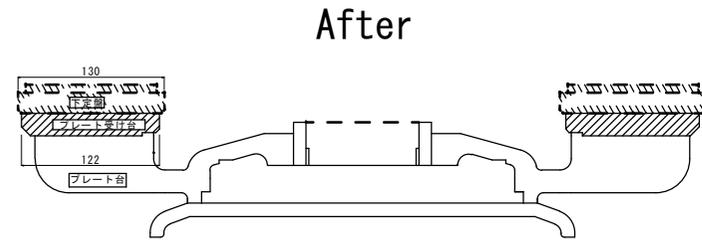


L F I 機 構



Before

- 1、従来のプレート台はリング状の一体物で内側3か所のリブによって支えており構造上、外側の強度が弱い傾向がありました
- 2、定盤の水平出しは、3点のボルトで押し上げ水平を出すため、定盤とプレート台に隙間が生じておりました。
- 3、定盤固定の為、押し上げたボルトの側をロックしていた為、締め加減により定盤がゆがむ可能性がありました。
- 4、図の様に定盤に対し、プレート台は約半分くらいしか受けておらず外側にダレが生じる可能性がありました。



After

LFI機構プレート台

- 1、LFI機構はMFL-9B・MFL-9.6B、LotNo. 9500（1990年製以降）の機械に対応可能です。
- 2、LFI機構のプレート台は幅150mm、長さ100mmの6カ所で支えております。
- 3、プレート台にSUSのプレート受け台を取り付け水平を出します。よって、定盤はプレート受け台に乗せるだけで水平が出るため定盤交換が容易にでき、水平出しをする必要がなくなります。
- 4、プレート受け台と定盤の間に隙間ができない為、定盤固定の為、ボルトでロックしても歪みが生じません。
- 5、従来のプレート台と違い、定盤全面を受けている為均一の強度、精度が保たれます。

※2モータータッチパネル仕様と同時に改造することによって角度・周波数バラツキを最低限に抑える事ができます。
(2011年2月実験済)

光永 株式会社

本社
〒190-0012
東京都立川市錦町3-1-9 エトワール立川錦町101
TEL:042-540-3318/3358
FAX:042-540-3309

長岡事業所
〒940-2402
新潟県長岡市与板町与板2453-4
TEL:0258-72-4771
FAX:0258-72-4772